



キラリと輝く!特別支援学校アート展

～ 2074名が来場 ありがとうございました。～

- 2012年8月5日(日)～14日(火) ●奈良県立美術館
- 主催:奈良県特別支援学校長会・NPO法人ならチャレンジド
- 運営:キラリと輝く!特別支援学校アート展実行委員会
- 後援:奈良県

「キラリと輝く!特別支援学校アート展」みなさまのお陰をもちまして来場者2000人を越える大盛況となりました。

特別支援学校在校生および卒業生のキラリと輝く作品の数々にふれ、みなさまと感動を共有し、子どもたちの無限の可能性を身近に感じさせていただくことができました。

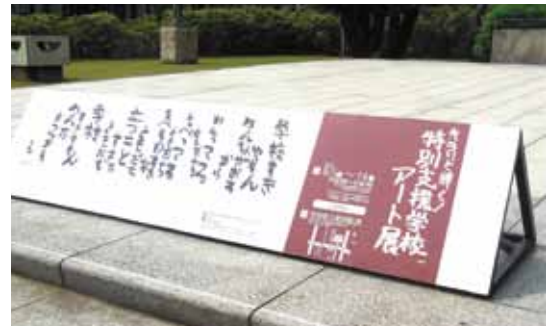
途中、3日間のワークショップ(色画用紙を切って作る動物たち、鹿の折り紙)でも直に来場者の生の声を聞かせていただくことができました。

期間中は、作家さん自ら会場で作品の説明と受付も引き受けてくれ、在校生、卒業生、先生方、スタッフみんなで協力しあいながら日々、盛り上がっていきました。

スタッフサイドの手によって折られた折り紙の花が作品展の中の数多くの一輪ごとに少しずつ飾られていき、最終日には満開の花が咲きました。

ワークショップ期間中、来場者のみなさまにお配りしました「作品のカード&鹿の折り紙」も大勢の協力を得て用意させていただくことができ、今回のアート展は関係者はもちろんのこと、すべてのみなさまのお力添えなしには進まなかったと思います。次回にむけた大きな可能性と宿題を残しつつ無事に終えることができました。

貴重なお時間を使ってアート展に足を運んでくださいましたすべてのみなさまに感謝とお礼申し上げます。ありがとうございました。



奈良県特別支援学校長会・NPO法人ならチャレンジド



副知事・県教育長・大和郡山市長・三郷町長が来訪!



●奥田喜則副知事



●稲山一八副知事



●杉田憲英副知事



●富岡将人県教育長



●上田清大和郡山市長



●森宏範三郷町長

奥田・稲山・杉田各副知事、富岡県教育長、上田大和郡山市長、森三郷町長が来訪され、ひとつ、ひとつ作品をじっくりご覧になりました。出展した生徒から作品の説明を聞いていただく一幕もありました。杉田副知事から「障害者が自らの作品を発表できる機会であり、また、社会との交流の場としてとても意義深い。今後も継続して美術館で開催されることに期待したい。」と激励のお言葉をいただきました。小さな空間に大きな夢が広がりました。ありがとうございます。

荒井正吾知事を表敬訪問

●奈良県特別支援学校長会・NPO法人ならチャレンジド ●8月1日



奈良県立美術館(館長:荒井正吾知事)の全面的なご協力のお陰で、なら燈花期間中、「キラリと輝く!特別支援学校アート展」を初めて開催。御礼と報告をかねて荒井知事を表敬訪問しました。



- 奈良県特別支援学校長会
 - 副会長 玉井良忠・明日香養護学校長
- NPO法人ならチャレンジド
 - 理事長 赤川義之 副理事長 竹村あき子
 - 理事 澤山裕美 監事 市場三喜

生徒が街頭広報、作品の説明、受付係を担う!

～卒業生もボランティアにかけつける～



●近鉄奈良駅前行基さん前広場



●生徒、卒業生と一緒にチラシ配布



●稲山一八副知事



●杉田憲英副知事



●富岡将人県教育長(中央)



高等養護・奈良東・奈良西・二階堂養護学校生徒20名がチラシ配布や受付スタッフとして来場者の方々を迎えてくれました。また、出展した作家さん(生徒)が、直接、来場者へ作品の説明をする一幕もあり、ふれあいと交流が深まりました。

高等養護・奈良東養護学校卒業生8名がボランティアとしてかけつけてくれました。作品搬入・設営作業、チラシ配布、作品の説明、受付、ワークショップ等を担ってくれ、とても助かりました。ありがとうございます。

キラリと輝く! 作家さん & 作品



●「学校すきやもん」 高岡哲也さん
・奈良養護学校卒業生(たけのこ園)

中学部3年生のとき、高岡哲也さんの第一作です。わらってるともだち(幸代さん)しゃべってるともだち(匠君)たべるのすきなともだち(健造君)立つことすきなともだち(圭吾君)。現在、奈良養護学校の廊下に飾られています。「キラリと輝く!特別支援学校アート展」ポスター・看板も高岡哲也さんの書です。



●「レインボーガール」 T.Mさん
・大淀養護学校高等部2年生



～ 杉田憲英副知事とともに ～
●「THE龍」 山中大輔さん
・奈良東養護学校高等養護部1年生



●「みんなのせんとくん」(貼り絵)
・二階堂養護学校小学部卒業生合同作品

会場入り口で「せんとくん」が来場者を迎えてくれました。



●「桜」 里崎萌子さん
・大淀養護学校高等部1年生



●「し・あ・わ・せ」 生駒佳子さん、及川健太さん
脇本翔太さん、堀田隆弘さん
・盲学校高等部2・3年生合同作品



●「たちばな祭」 AYAさん
・明日香養護学校訪問教育部卒業生

2011年明日香養護学校文化祭「たちばな祭」のプログラムの表紙。高等部生徒全員がこのTシャツを着て文化祭に参加しました。



●「凱風快晴」(貼り絵)
・平成23年度奈良西養護学校高等部合同作品



●「金魚」(油彩) 澤山雅哉さん
・高等養護学校卒業生(河合町立図書館)



●「シーサー」紙ひもアート
尾崎雅さん
・ろう学校高等部3年生



●「恐竜」紙ひもアート
川上裕貴さん
・ろう学校高等部2年生

修学旅行で沖縄に行き、シーサーをさわって平面でひもの造形にしました。

恐竜大好き。指先で確認しながら、時間をかけて作った作品です。



●「ロボット月面旅行」「ゲソ姫とタコハチ王子」
吹井充さん ・高等養護学校卒業生(セルプ太陽)



●「仮面」 高等養護学校3年生合同作品

いつも書いているキャラクターを主役に明るい未来のファンタジーをテーマとして描きました。自分の作品が展示されてよかった。嬉しかった。



●「涼くんのスケッチブック」本迫涼平さん
・奈良東養護学校卒業生(青葉仁会)

細かいイラストや文字が特徴。スケッチブックに描き続けた作品群からチョイスしてパネルに展示しました。



名画「ゲルニカ」に挑戦



■ 西和養護学校中学部合同作品 (新聞紙による貼り絵)
鶴野佑哉さん、二宮健さん、下川大貴さん、長井要人さん、村中映介さん、車井駿人さん

中学部6名は、昨年、校内作品展にむけピカソの名画「ゲルニカ」に挑戦しました。

1. 鑑賞 (2時間)

- ・何が描かれている → 攻撃された人や牛、子ども、おばけ、電柱など
- ・何色で描かれている → 白黒
- ・何を感じた → 悲しい、戦争への怒り、平和への願い

2. 制作 (約1カ月)

- ・作品を6分割し、生徒が自分の好きなパーツを選ぶ。
- ・黒ポスターでキャンパスを塗り、下書きをして新聞紙を貼りつける。
- ・額縁にパスタ、マカロニを使用し、模様のように見える。

3. 指導された寺本佳雅教諭の感想から

「共同作品なので、みんなでひとつにするために、何回も制作途中で合わせました。」

「生徒それぞれのペースが違うので、苦労しました。」

「最後に6名のパーツを合わせて完成した瞬間、感動しました。」

*「ゲルニカ」は現在、西和養護学校の階段室に飾られています。



作品と いっしょに



●「あじさい」 菊池正明さんと家族
・大淀養護学校小学部3年生



●「天竜寺」 永田翔さんと母親
・明日香養護学校高等部2年生



●「サザエ」「牡丹」 仲川佳那さん
・奈良東養護学校高等部1年生

来場者の感想

215名からメッセージを頂きました!

駅前でチラシを頂いて来ました。
初めての開催おめでとうございます。ひとつひとつの作品に“美”の美しい感動を頂きました。
チラシにも心動かされることに作った方に感謝します。大成功ですね☆☆☆ (無記名)

7月にポスターを見つけて、今日うかがうことをとても楽しみにしていました。
作品一つ一つを通して、真剣に、一生懸命に取り組んでおられる姿が目にかびました。また、支援される先生方の様子も目にかび、子どもたちと先生方の毎日の積み重ねのあらわれだと感じました。
「学校すきやもん」の詩、ずっと心に留めておきたいです。
ありがとうございました。 (無記名)

力がわいてきて、また、がんばる気持ちを思い出せそうです。 J

「芸術」とは、表現者と鑑賞者が作品を通して、相互に作用すること、関係を作ること、何らかの影響を与え合うことだと思います。
今日、目の前にあった作品はすべて「芸術」でした!一人一人の「想い」や「生命力」、「繊細さ」「優しさ」「強さ」など書き切れない「表現」を感じました。
そして、「学校すきやもん、みんなおるから」と子どもたちに思ってもらえる学校に、教師になりたいと強く思いました!本当にありがとうございました!!

和歌山県立みくまの支援学校 T. N



「学校すきやもん」・・・という言葉がこのアート展に入るきっかけを作ってくれました。本当に好きな学校なんだという気持ちが伝わってきます。
他の作品も、どれもこれも大変素晴らしいですね。本当に感動しました。 (無記名)

「学校すきやもん」とてもよかったです!! (^v^)感動しました。
色々悩んでいたことがすっきりしました。ありがとうございました。 N. S

学校すきやもん すごすぎてワロタ〜 SARI

「学校すきやもん」の書が素晴らしい!
住重環境エンジニアリング(株)

すばらしい! 味がある! 感動した!
(無記名)

私は今、先生になることを夢みて勉強中ですが、この作品展にそしてみなさんにパワーを頂いた気がします。“学校すきやもん”この言葉が印象的で私もそんなことが生徒たちに思ってもらえるような先生になりたいです。あたたかみのある、パワーのある作品の数々ありがとうございました☆

M. K

特別支援学校1512名一人ひとりの思いが込められたパネル、とてもきれいで感動しました。
“キラリと輝くアート展”名のとおり、どれもセンスよくすばらしいものでした。
(無記名)

みんなそれぞれの良さが1つになったジャンボパネル! 見てて、とにかく“うれしい!”の一言にかぎりませず。心がおどりますね!
(無記名)

奈良東養護学校の元ボランティアです。必死で知っている名前がないか探しました。やはり元気をもらいました。私も教員採用試験がんばります。
笑顔になれました。幸せをありがとうございます。
(無記名)

元気でいてくれて笑顔になりました。僕もこれから頑張りたいです。
R

生徒1人1人の良さがとても伝わる作品ばかりで感動しました。大阪で特別支援の講師として現在務めています。今の学校の子どもたちのために自分ができることをしていきたいと思いました。本当に勉強になりました。そしてとても元気にしてくれる作品に出会えて心から感謝しています。
ありがとうございました。
N. S



とても1人1人の作品にキラキラ心がこもっていてとてもよいアート作品が見られて良かったです。
by さくらんぼ

すばらしいの一言です。心が洗われました。
済生会中和病院 M. F

(英語で記載 日本語に訳しました)
とてもかわいくて価値のあるものばかり! 一人ひとりとても才能がありますね。日本滞在中に、ここへ来られたことをうれしく思います。
パイジ M

(フランス語で記載 日本語に訳しました)
折り紙で鹿を作るなんて想像もつかないくらい驚きでした。支援する人はとても思いやりのある人ですよ。本当にありがとう!
シルビイー パリより



ワークショップ

～紙でいろんな動物をつくろう!～

●講師: 汾陽<かわみなみ>次夫氏
(室生ふるさと元気村クラフト工房)

<8月6日～8日>

- キリンなど動物の切絵
- 鹿の折り紙



日本画を見に来て、まさかこんなステキな児童たちの絵を見られるなんて思ってもいませんでした。今、大学生なので、そんなに遠い記憶ではないけれど、小学校の子らの作品を見るととてもなつかしい気持ちになりました。

個人的にはゲルニカの模写が好きです。作っている風景も展示してあってよかった！他の作品も個性豊かで、かざらない感じがとてもいいです。神奈川から足を運んでよかったです。(*^_^*)
シカの折り紙のプレゼント、うれしい！！

美大生



気持ちが素直に表れた作品群。あたたかさに涙がでそうになりました。殺ばつとした気持ちにローソクの灯がともったような。ありがとう！！
日本画展のついでに寄ったのですが、サイコーでした。

神戸より

とてもすてきな作品で笑顔になりました。
私も仕事頑張ります。ありがとうございました。

(無記名)

小さなスペースに想いがいっぱい詰まったアート展でした。いい作品が多かったです。

コメントをすべての作品につけてほしかったです。

奈良市 F

温かい作品にふれ、心が温かくなりました。

来年もこのような展示をしてください。 S.S

見ごたえのある作品ばかりで楽しませて頂きました。明日へのヒントにして、私もいろんなことにチャレンジしていきたいと思いました。

十津川村 O

1つ1つの作品もすてきでしたが、全体を遠くから見ても色彩・雰囲気がとてもすてきでした。

(無記名)

とてもすてきでした。また、来たいです。

私も毎日、1日1日大切に生きよう！

力を頂きました。

(無記名)

どんなものを見て、どんなものを聞いて、どんなものをイメージしたのか…思わず聞いてみたくなるような作品がたくさんありました。

ありがとうございました。

(無記名)



1月に生まれた子どもに先天性の障がいがあり、将来を考えるようになりました。

いつの日か、このようなみなさんのように誰かの心をいやすような作品を描いてくれるようになってくれるのかなぁと思うと楽しみです。

男の子のママです。

子供に障害があるので、将来こんな作品展に参加できたらなぁと思い、見せてもらいました。

また、準備が大変だと思いますが、毎年続けてがんばってください。

(無記名)

今日見きて思ったことは、自分と同じ人がこんなに面白い作品をつくっていると自分も負けじと作品をつくりたくなりました。

K.O



～ありがとうございます。～

NPO法人きららの木 「アート展」チラシ発送作業を担う!



●赤井繁夫大和郡山市教育長(後列右)



ならチャレンジドさんより、奈良市、生駒市、大和郡山市の各幼稚園・小・中学校へ5万3千枚のアート展チラシの発送作業のしごとをいただきました。

ご利用者さん全員で一生懸命取り組みました。チラシの封筒入れ作業では、しわにならないようにと初めてみるような真剣な眼差しです!力仕事もありましたが、「いろ葉ファイト!」みんなで声を掛け合って楽しく頑張りました。

生駒市と大和郡山市へは、ならチャレンジドの赤川理事長と一緒に直接教育委員会にお持ちしました。子どもたちは、前日はとても緊張していましたが、・・・いざ本番も緊張したまま・・・でも頑張ってお届け作業も完了しました!

このしごとを通して社会参加の機会を頂き、様々な方との出会いの中で、社会人としてのマナーや最後まで頑張るということを学ぶことができました。

私たちが携わせていただきましたこのチラシを見て、多くの方々がアート展を楽しんでくださりまして、とても嬉しいです!!



NPO法人きららの木 理事長 江川 美奈子

ならどっとFMで発信!

●7月27日(金) 12時0分~25分

●ラジオ放送: FM78.4

●出演: NPO法人ならチャレンジド

理事長 赤川義之、副理事長 竹村あき子

ならどっとFMさんのご配慮で、ラジオ放送に出演。「キラリと輝く!特別支援学校アート展」の情報発信をさせていただきました。



～ アート展を終えて ～

特別支援学校に在籍する児童生徒や卒業生も含めて、これまでに多くの楽しく個性的な作品が制作されてきました。学校だけではもったいない!多くの県民の方々に見ていただき、感動をわかちあいたいとの思いから、今回のアート展を開催することになりました。

県立美術館の一室をお借りするという初めての試みでもあり、準備期間も短くどの程度の作品が集まるかも未知数でしたが、予想を上回る質の高い作品が数多く集まりました。来場者も2000人を越える大盛況となり、会場に設置したノートの感想文からも、今回のアート展の成功を実感しています。新たな作品公開の場の誕生をどのように育てていくか大きな宿題をいただいたと感じております。

おわりに、今回のアート展に協力いただいた多くの関係者や来場者のみなさまに感謝とお礼を申し上げます。

キラリと輝く!特別支援学校アート展実行委員長 川岸正典

～本事業は「奈良県新たな文化活動チャレンジ補助金」を活用して実施しています～